

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	まちとも 霧が丘
現在の主な活動 内容・活動実績	霧が丘で活動する複数団体が月に1回集会所に集まり、それぞれの地域活動の共有・協力・共催を通じ、豊かな人間関係のあるまちづくりを目指しています。
提案場所	緑 区 霧が丘3丁目
提案名 (25字以内)	地域で繋がり、楽しむ！多世代・多国籍交流の新拠点
提案する施設 (どのような施設の 提案ですか)	子育て世代、シニア層、外国人。元気なシニア層も多く、またインド人だけでも800人が暮らす街、霧が丘。同じ街で暮らしながら、日々の暮らしの中では同じ属性の人としか出会う機会を持ってません。この異なるグループはそれぞれもっている物が異なります。今回の拠点は異なる属性(カラー)のグループが同じ場所に集まる機会を創る事により、新しいつながり、多世代交流、国際的な地域交流が生まれ、互いにくもっていないもの>をシェアし、豊かな人間関係が生まれ・育つ拠点になります。出会う事から相互理解につながり、何かを一緒に楽しみ(例えば料理や語学)その先にく<助け合い>>が生まれるような地域の拠点創りをしたいです。 整備費用の概算額:約 500万円
活用イメージ (提案する施設で どのようなことを 行いますか)	【たまり場とそこから生まれる活躍の場】 午前中はシニア層や、赤ちゃんがいるママ、1人家で過ごすのではなく、目的がなくても行けば誰かに会える場所に。お菓子作りが得意な主婦のお菓子や、商店街のスイーツを食べながら、お茶を飲み同じ空間で一緒に過ごす事で人と人の繋がりが。放課後は子どもが帰ってきて立ち寄り学習の場に。今まちプラスでスタートしたインドのママによる英語を使って遊ぶ教室の開催や、KJCやKICでの日本語教室の開催も。ここに、地域のシニア層の活躍の場も作る事ができます。双方の教えられる人を見つけ、誰かが誰かに必要とされるネットワーク作りの拠点になります。無理に誰かと誰かを繋げなくても、勝手に繋がれる場に。家庭で満足できない子が、人とのふれあいを求めてくる事も。こども食堂や読み聞かせ、昔遊び、昔学童保育で行っていた駒検定など、遊びながら繋がる場所にもなります。 【スキルの交換・助け合いの拠点】 スキルの交換を行える場所とし(地域スキル通貨があっても◎)、例えばシニア層はこどもの見守りを。ママは誰かと一緒に自分のこどもを見守る事で、1人ですべて抱える子育てから解放され、ゆっくりランチを食べる事ができる。一方、子育て世代はシニア層にスマホの使い方や、ママチャリで買い物代行など、自分の生活の範囲で出来るサポートをシェアする。週に1回、足が悪いおばあちゃんが遠方から親戚を呼ばなくても地域内でサポートし合えるネットワークが育つ拠点になります。
提案の背景(なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	私は産まれも育ちも霧が丘、今は2人の娘の母親です。30年前、3つあった小学校は1つに統合。少子高齢化はよくある話ですが、ここにインド人の増加も含まれる面白い街です。騒音や匂い、生活時間の違いからインドの方との住民トラブルも起きています。KIC(霧が丘インターナショナルコミュニティ※以下省略)ではイベントを通じ繋がり、話す事からお互いを理解できる企画をしてきました。また、2年前に学童保育が閉鎖、子どもが遊ぶ場所の選択肢が減っています。「まちとも」で出会ったシニア層との対話で「コロナ禍で私たちは何もやる事がない！」という声から、元気な皆さんが生きがいをもっとこの街で創り、「明日、そこに行くのが楽しみ！」になる拠点創り、そこに子どもやママ、外国人も集まり、違いを知り、楽し

	<p>み、助け合いのネットワークが創りたいと思いました。大きなイベントを企画しなくても、毎日そこで色んな人が出会い、小さな企画を沢山実践できる場所の為に常設の場所が必要です。</p> <p>まちプラスで企画した地域での七五三の撮影会では80代の女性に娘の着付けをお願いしました。</p> <p>こんな多世代ならではのできる事を地域で沢山実施したいです。</p>
<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	<p>第二の孫がいて、第二のおじいちゃん・おばあちゃんがいる。里帰りしなくても、自分の親のように可愛がってくれる人がいる。外国の方が第二の故郷と感じてもらえるような温かい人と人のつながりがある街にしたいです。</p> <p>交差点の井戸端会はインド人のママと日本人のママがミックスされていて、公園では色んな国の子と一緒に遊ぶ。特別なスキルでなくても「これ助けられますよ!」という会話がその場で起き「これなら3丁目の〇さん」と人と人がつなげられるような、そんなコミュニティーをつくりたいです。</p> <p>誰かの役に立てる事が「生きがい創出」にも繋がり、この助け合いがある地域での豊かな人間関係の中で自分の娘を含めたことも達がやさしく育てて欲しいと思います。</p>
<p>整備時の協働（つくる時に連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの学校（霧が丘に設立できず今は青葉区に設立した小学校）と場所のシェア ・地域ケアプラザや社会福祉協議会との連携も行いたい ・UR都市機構と場所提供における協業 ・地域の自治会・霧が丘老人連合会との協業により空き家情報と協力者を募る ・霧が丘の学童を設計した知人へ協力要請を出す ・霧が丘 商店会との連携 ・KIC（外国人ネットワーク） ・まちプラス（子育てママネットワーク）
<p>運営時の協働（運営する時に連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひだまりハンドメイドバザールに出展しているハンドメイド作品の物販ができる空間にし、ひだまりのメンバーにもその場に立ってもらう（地域ニーズの発見） また縫物が得意な人の縫物代行などのスキルの交換にも・・・ ・KIC・KJCを通じた外国人コミュニティーとの連携。日本語教室カフェや多文化共生につながるイベント企画 ・霧が丘バザールとの協業で野菜や生活用品の購入ができる場に ・緑区国際交流ラウンジとの協働（地域の外国人のニーズキャッチ） ・英語の教室や英語でインド式の算数を学べる教室をインドの学校とのコラボで行う ・NPO法人 たすけあい・ゆりの木さん（福祉事業）との協業 →ヘルパーの担い手の育成
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>「まちとも」は1つの団体ではなく複数団体により結成をされています。</p> <p>子育て、シニア、外国人という異なるコミュニティーをそれぞれが持っている事が大きな特徴です。2年前からの話合いの場で、この持っている物の違いに気が付きました。当事者意識は異なりますが、地域の拠点創りから街のコミュニケーションの活性化を望む事で一致をしています。</p> <p>持っているものを相手にシェアする事で、役割ができ、生きがいになる。多くのカラーの異なる人が出会える場を地域に広げ、多くの方が霧が丘での暮らしを楽しみ、人と人の繋がりができていく。</p> <p>「霧が丘だからできる」古くからあるものを大切にしたい新しい拠点創りを目指したいです。</p>

注4) 「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
UR都市機構 ウェルフェア推進部	団地の集会所利用は難しいが、テナント利用のラインならうまく協業できるかもしれない

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

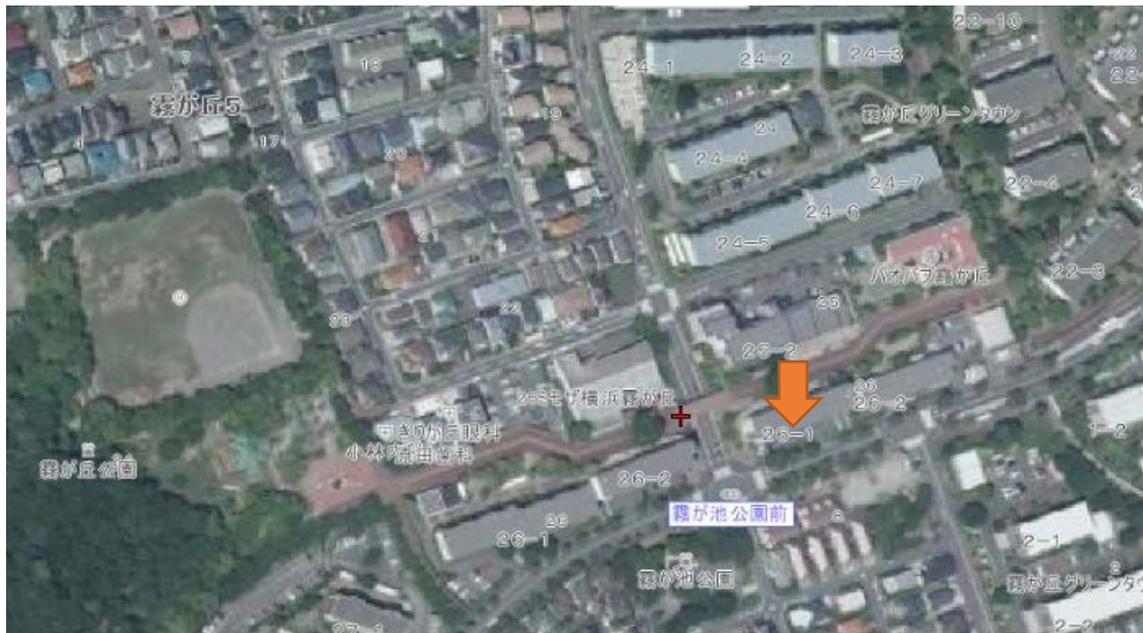
記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図



航空写真



現況写真



↑元、霧が丘学童が入っていたテナントです。(UR 都市機構様 サイトより)





霧が丘はどんな街？！

★インドの人の町

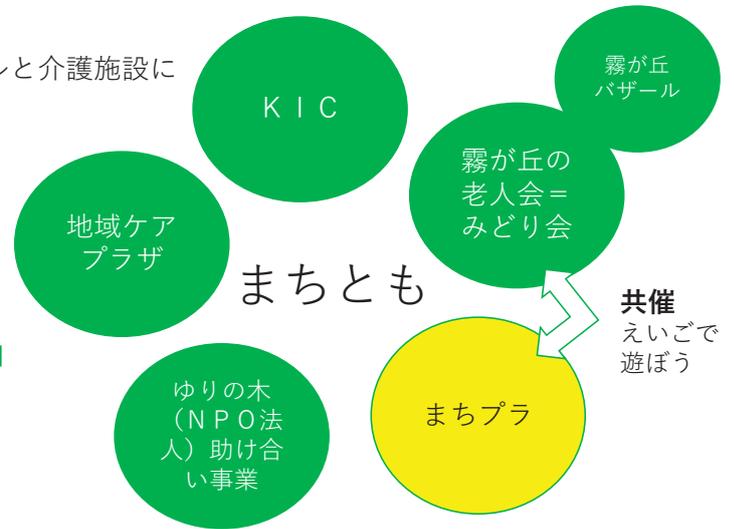
URを中心に800人程のインド人が暮らし、保育園にもクラスに1人程インドの子が在籍をする
 夕方の公園はまるでインド・・・！

★少子高齢化

3つあった小学校は1つに統合
 そのうちの1つはインドのインターナショナルスクールと介護施設に
 ひとつは星槎学園（私立中学校）
 学童は2年前に閉鎖
 →放課後のキッズクラブはあるが、通わなくなる子も増え
 放課後のこどもの居場所が問われている

1万1658人が住み、うち3350人が65歳以上（28%）
 お隣の若葉台は50%

地域で活動する色々な世代の色々な
 グループで月に1回情報共有を重ね
 「たまり場が欲しい」



活動計画

多世代交流や学び場の提供を通じて交流の場を創りたいです。

地域の繋がりの輪を広げ、
 ゆくゆくは霧が丘の「たまり場」を創りたいです。
 定期的に立ち寄り学習を行ったり、子育て世代がおじいちゃんにスマホを教えたり・・・インドの方と気軽に交流できる場にもなれば良いと思います。

スケジュール	日にち・内容	説明 (会場・参加人数など)
4月	4月25日 写真館 ステップUPの春 家族写真を撮ろう！	霧が丘デポ-2 階 ※30分1組で1日10組(予定) 色々な変化の春 ランドセル姿や撮影などの撮影会
5月		
6月		
7月	7月末 学び場の開催 (仮) 家庭でできる風邪予防	霧が丘デポ-2 階 10人ほど 講師を招いて、子育てなどの悩みに寄り添える内容のワークショップを開催 +座談会でお茶を飲みながら悩み共有
8月		
9月		
10月	10月24日 写真館 年賀状の写真を撮ろう	霧が丘デポ-2 階 ※30分1組で1日10組(予定) 家族写真を残してもらおう
11月		
12月	12月中旬 お正月に向けて 黒豆+餅切り教室！	地域のおばあちゃんに 黒豆の煮方や餅切りを教えてもらおう 合計10名程
1月		

